

学校関係者評価報告書

公益社団法人藤沢市医師会 湘南看護専門学校 学校関係者評価委員会は、2025 年度自己点検・自己評価報告に基づき、学校関係者評価を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

2026 年 3 月 31 日
公益社団法人 藤沢市医師会
湘南看護専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員会

委員長 北澤 伯子(教育有識者 本校非常勤講師／本校前校長)
委員 曾我 孝子(実習施設関係者 藤沢湘南台病院看護部長)
委員 大塚 真奈(地域代表者 藤沢市湘南大庭市民センター長)
(事務局)今井 れい子 湘南看護専門学校校長
石原 史也 湘南看護専門学校事務長
石井 明美 湘南看護専門学校教務主任
神林 博昭 湘南看護専門学校教務副主任

2. 開催日時

2026 年 3 月 27 日(金) 15 時～16 時

3. 評価方法等

2026 年 2 月に教職員が実施した自己評価結果に基づき、評価・講評を行った。

2. 自己点検・自己評価結果の総括

2025 年度の自己評価では、8 項目の平均点が上昇し、全体として改善が見られた。特に、情報共有体制の整備や学生支援の強化など、教職員の取り組みが評価された。一方で、学生の学習姿勢・早期退学の増加など、改善が求められる点も明らかとなった。

3. 領域別の評価と意見

I 教育理念・教育目標・育成人材像

- ・保護者との連携をどのように深めるかが重要であるとの指摘があった。
- ・保護者会は各学年年 1 回開催しているが、参加率は 1/3～1/2 程度であり、成績不振やメンタル面に課題のある学生の保護者には参加を依頼している。
- ・授業において、教育目標と学習目標の関連性を学生に示すことが必要であるとの助言があった。

〈学校としての考察〉

教育理念の浸透には継続的な説明と対話が必要であり、授業内での明確な目標提示を強化する。

II 学校運営

- ・情報共有ツールの活用は効果的であり、教職員間の連携が向上した。
- ・一方で、教員間の ICT スキル差が課題であり、研修機会の確保が求められた。

〈学校としての考察〉

ICT 研修の計画的実施と、情報管理体制の強化が必要である。

III 教育活動

- ・学生の学習意欲の低下が見られ、授業中の反応が乏しい学生がいるとの指摘があった。

- ・看護師像を持たずに入学する学生が増え、早期退学につながっている。
- ・訪問看護実習での家庭環境を見て離脱を考える学生もいる。

〈学校としての考察〉

入学前教育の充実、キャリア理解を深める機会の提供、実習前オリエンテーションの強化が必要である。

IV 学習成果

- ・卒業生の状況把握は一部行われているが、体系的な追跡調査が不足している。
- ・湘南ナース研修を通じた卒業生との交流は有意義であるとの評価があった。

〈学校としての考察〉

卒業生の追跡調査を定期化し、情報共有の仕組みを整備する。

V 学生支援

- ・保護者との情報共有の拡大は効果的で、メール連絡の導入により伝達が円滑になった。
- ・卒業生支援体制の改善が評価された。

〈学校としての考察〉

保護者・卒業生との連携を継続し、支援体制をさらに強化する。

VI 教育環境

- ・「部屋数が少ない」という意見の背景は明確ではないが、グループワーク時の不便さや研修時の制限が影響している可能性がある。

〈学校としての考察〉

学習環境の改善に向け、利用状況の把握と調整を行う。

VII 学生募集

- ・看護師志望者の減少が全国的傾向として指摘された。
- ・大学新設や仕事の大変さから人気は低下している。
- ・社会人入学者も減少している。
- ・広報活動の強化が求められた。

〈学校としての考察〉

高校との連携強化、病院見学の企画、広報媒体の見直しなど、募集活動の多様化が必要である。

VIII～X 財政・法令遵守・社会貢献

- ・避難所設置訓練や学びingの開催は地域貢献として評価された。
- ・小学生の段階から看護に触れる機会は意義がある。
- ・学校祭やボランティア活動は地域からの注目度が高く、継続が望まれる。

〈学校としての考察〉

地域との連携を継続し、社会貢献活動を学校の特色として発展させる。

4. 総合評価

2025年度は、情報共有体制の整備や学生支援の強化など、学校運営において一定の成果が見られた。一方で、学生の学習意欲の低下や早期退学、教員間のスキル差など、教育現場の変化に伴う課題も明らかとなった。

これらの課題に対し、学校としては以下の点を重点的に取り組む必要がある。

- ・教育理念の浸透と授業改善
- ・ICT研修の充実と情報管理体制の強化
- ・入学前教育・キャリア理解支援の強化
- ・卒業生追跡調査の体系化
- ・広報活動の多様化と地域連携の推進